



12・18耕作権裁判 & 千葉地裁デモに集まろう

耕作権裁判に先立ち千葉地裁に向けてデモ行進 (9月25日)

12月18日、千葉地裁民事第2部(齊藤顕裁判長)で成田市天神峰の市東孝雄さんの農地をめぐる耕作権裁判が開かれます。この裁判は、成田空港会社(NAA)が市東さんの耕す南台農地の一部を「不法耕作」と決めつけ、市東さんにその明け渡しを求めている裁判です。

しかし、市東さんが耕す南台農地のすべてにゆるぎない耕作権が存在しています。3代100年、額に汗して誠実に耕し続けてきた市東さんを「不法耕作者」呼ばわりすることなど絶対に許すことはできません。

NAAは用地買収や賃借地特定に

関連する交渉記録などは一切ないとしらを切り、裁判所の文書提出命令にも従わないために17年にわたる長期の裁判となっています。

11月13日から人証調べが始まり、裁判はいよいよ大詰めを迎えています。千葉地裁デモと傍聴にぜひ駆けつけ、「市東さんの農地を奪うな」の声を上げてください。

市東さんの南台農地を守ろう! 耕作権裁判 & 千葉地裁デモ

12月18日(月) 正午 千葉市中央公園集合
→千葉市街地をデモ
午後1時45分 開廷 千葉地裁 601号法廷

地域住民の声

今回は芝山町と成田市の住民から。眠れる夜と静かな朝を迎えたい。空港の拡張よりもバスの増便を。住民の当然で切実な声を紹介します。

◆防音工事後に追加費用を求められた。まるで詐欺（さぎ）のよう。

芝山町 パート

2度目の防音工事の申請が始まったが、外側の工事は含まれず、内装のドアや障子を変えるだけ。とても意味のある対策とは思えない。しかも、工事始めてから「一部を自己負担してくれ」と言われた。まるで詐欺（さぎ）のようだ。

町長も議員も芝山町の将来を本気で考えているとは思えない。第3滑走路新設や騒音を拡大する機能強化を自ら呼び込み、住民を追い出すことをやっている。町はさびれる一方で、車が運転できなくなったら生きていけない。

◆気候危機で農業の未来が心配。空港の拡張はやめるべき。

成田市 農家

高温と水不足で今年は大きいイモが少ないし、収量は例年の7～8割程度だ。高温が続くので種まきの時期もどんどんと後ろにずれたりして、安定的に野菜を作ることが難しくなっている。農業の未来を考えると、気候危機を促進する空港の拡張などは今すぐ止めるべきだ。

DVD 三里塚 2023

天神峰 農地強制執行との激闘の記録

市東さんの天神峰農地取り上げ強制執行との激闘の記録をコンパクトにおさめたDVDを作成しました。夜陰に乗じてやってきた数百もの機動隊を前に一歩も引くことなく、農地死守の徹底抗戦をつらぬく老若男女の仲間たち。マスコミ報道だけでは知ることのできない臨場感あふれる貴重な映像です。ご注文は反対同盟まで。（頒価500円・21分）



民間空港で初 戦闘機の 離着陸訓練許さない！

自衛隊3軍統合演習 米軍含め4万人以上が参加

陸、海、空自衛隊3軍の統合演習が10日から全国で実施されています。自衛隊員3万800人、米軍1万200人、計4万人以上を動員する自衛隊最大の実動演習です。

昨年12月に改定された安保関連3文書では自衛隊が民間の空港や港湾を活用する方針が明記されました。さらに、今年度の防衛白書では「公共インフラの軍事利用」「民間の輸送力を最大限活用」「自衛隊の平素から空港・港湾施設などの利用拡大や補給能力の向上を実施」などが強調されています。

今回の演習はこれらに基づいて、初めて民間の空港や港湾を使った大規模な軍事訓練が強行されています。

具体的には、自衛隊基地が攻撃によって使えなくなったとして、自衛隊の戦闘機F15、F2や大型輸送機C2の離着陸訓練が岡山空港、大分空港、徳之島空港、奄美空港の4つの民間空港で行われています。港湾では、民間船舶を使って自衛隊軍用車両を輸送し、大分港や中城湾港で陸揚げ。公道を走行し各自衛隊施設に移動させています。

沖縄では港や公道の軍事使用を許さないと、道路に座り込むなどの抗議行動がたたかわれています。

成田空港は有事の際の米兵の受け入れ拠点に位置づけられています。しかし、反対運動の力によって国に「軍事使用はしない」と言わせる力関係を築いてきました。沖縄をはじめとする反戦・反基地の闘いと連帯し、成田の軍事使用、空港拡張を阻みましょう。



民間空港である徳之島空港に自衛隊員を乗せて降り立った大型輸送機C2（10日 鹿児島）



那覇空港でC2輸送機から積み下ろされる陸上自衛隊の16式機動戦闘車（10日 沖縄）



民間船舶を使って陸揚げされた自衛隊の装甲車が公道である国道58号を走行（10日 沖縄）

今すぐガザでの虐殺をやめろ！

ギリシャ・アテネ国際空港内でデモ

イスラエルによるガザでの大虐殺への抗議行動が11月2日朝、アテネ国際空港内で行われました（写真）。デモはイスラエルのエル・アル航空のオフィス前から出発。空港内の乗客や労働者に「今すぐガザでの虐殺をやめよう」「パレスチナに自由を」と訴えました。



成田空港の拡張に反対する 新署名にご協力を！

1444筆（11/12 現在）

私たちは成田空港の拡張に反対する署名を呼びかけています。

成田空港の拡張は「百害あって一利なし」です。森林、水系の破壊は大規模自然災害を呼び込みかねず、機能強化工事や発着回数の増加に伴うCO2大量排出は気候危機を促進します。騒音拡大も住民の生活と健康を脅かします。

政府は今年8月、「台湾有事」を想定して全国約40の空港・港湾の整備・拡充を打ち出しました。民間空港での軍事演習も始まりました。成田は空港機能強化が進めば、4千㍍級の滑走路3本を備える日本最大の兵站（へいたん）出撃拠点として運用が可能になります。ミサイル攻撃の対象にもなります。「軍隊は住民を守らない」という沖縄戦の教訓を今一度思い返す必要があります。成田を戦争の最前線にしないために署名へのさらなる協力をよろしくお願ひします。

成田空港拡張反対署名

千葉地裁民事第3部・岡山忠広裁判長

成田空港の拡張に反対します

成田空港会社は、発着枠50万回化に向けた「成田空港の更なる機能強化（第3滑走路建設、B滑走路の1千㍍延伸、早朝5時～深夜1時までの運用時間延長）」を2028年度中に完成させるとしています。

敷地面積を2倍にし、南北12㍍もの巨大空港建設で森林・水系は破壊され、膨大な田畑・動物物のすみかが奪われます。深夜早朝の飛行時間延長は騒音下住民の命と健康を脅かします。また、工事や発着枠拡大に伴うCO2の大量排出は気候危機を促進します。

さらに、浜田靖一防衛大臣は「民間施設の平時からの軍事利用を進める」として、沖縄の下地島空港と並んで成田空港を名指しました。成田の軍事利用、戦争のための空港拡張は絶対に認められません。

成田空港機能強化に伴う国の施設変更許可の無効確認と、滑走路建設など一切の工事差し止めを求めます。

名前	住所